



川俣小学校「学校だより」 輝くひとみ

令和4年7月19日(火) 第9号

みんなでのびる

☆高め合う子

☆助け合う子

☆きたえ合う子

発行者 校長 小野真教

1学期 71日間 無事終了

新生川俣小学校となり、71日間の1学期が終了しました。大きな事故等がなく、1学期が終了できますことを心より御礼申し上げます。これもひとえに保護者の皆様のお力添えがあったからこそと感謝申し上げます。

さて、今まで少人数の学級編制だった子どもたちは、新しい小学校生活に戸惑いと不安を感じていました。すぐに順応できる子どもがいる反面、悩みや不安を抱えながら登校する子どもも少なくありませんでした。我々教職員一同、子どもたちに寄り添い、真摯に対応して参りましたが、保護者の皆様にご心配をおかけすることもありました。1学期の教育活動をしっかりと振り返り、子どもたち一人一人の自己存在感を高められるよう、2学期から気持ちを新たに組み込んで参ります。1学期同様、心配なことや困ったことがありましたら、すぐに学校までご連絡ください。

＜授業参観・懇談会＞



新生川俣小学校となり、初めての授業参観、懇談会が開かれました。保護者全員の駐車場を1度に確保できない点から、授業参観を2回に分けて行いました。駐車場の出入りは、一方通行にしたことにより大きな混乱はなかったようです。学校へのアクセスもスムーズにできました。駐車場とアクセスについては、これまでご迷惑をおかけしてきましたが、ある程度の方向性が見えたと思います。



さて、子どもたちの様子はいかがだったでしょうか。統合前より大きな集団での授業です。まだまだ、自分を表現できない子どもがいますので、引き続き、子どもたちに寄り添い、丁寧に指導していきたいと考えています。

＜移動水族館＞



＜養蚕体験＞



＜青少年の主張大会＞



7月は学校や町の行事、講師を招いての学習活動などが目白押しでした。1・2年生を対象にしたアクアマリンふくしまによる「移動水族館」、3年生による「養蚕体験プロジェクト」、6年の〇〇〇〇さんが参加した「町青少年の主張大会」、4年生以上による「キッズシアター」。どの学習活動も『体験から学ぶ』ことが多く、子どもたちの心を育てる内容でした。

また、引き渡し訓練では、保護者の皆様にご迷惑になりました。特に、昨今の予測できない気象変動や子どもが巻き込まれる事件・事故等を見ても引き渡し訓練は、子どもの命を守る上で大変重要でした。ご協力に感謝申し上げます。